

## 9・11：“透明なウソ”の15年——ワシントンの説明は陰謀説

【訳者注】9・11の15周年を迎え、このサイトだけでも9・11関連記事があふれかえっている。その後現在までの、世界の動きの基点となったのはこの事件だから、その重要性をいくら強調してもしすぎることはない。万が一、騙されて「ワシントンの説明」を真に受けたとしたら、すべてが狂ってくる。ワシントンの説明を反証する（その矛盾を証明する）状況証拠は、何冊もの本を要する膨大な量になるだろう。P・C・ロバーツのあげているのは、そのごく一部にすぎない。にもかかわらず、それだけで、「内部犯行（inside job）」「ニセ旗攻撃（false flag attack）」であることは十分証明できる。

このサイトの創設者 Dr. Michel Chossudovsky（チョスドフスキー）の、2年前に書かれた「9・11リーダー（序文）」という、充実した長い論文があるので参考にしていただきたい。本当は、アップデートされたものがあるのだが、長大なので翻訳はできなかった。

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/140918.pdf>

問題は証明や反証ではない。それはもう十分である。本当に深刻な問題は、自分たちの利益のために3000人もの罪のない人々を平気で殺し、その隠しようのない犯罪を否定して他人に転嫁し、そのウソを根拠にして、世界の何百万という人々の命と住居を奪う人々がいるということ、そして我々がその人々を追及するどころか、事実上、支持する態勢を取っているという事実である。これ以上恐ろしいことがあるだろうか？ これ以上恥ずべきことがあるだろうか？

Dr. Paul Craig Roberts

Global Research, September 10, 2016



9・11については沢山の陰謀説がある。米政府自身の9・11の説明は一つの陰謀説であり、それは、数人のサウジアラビア人がアメリカの国家安全保障態勢を出し抜いたというものである。間違いなく、多くの、もっと空想的な陰謀説が、公式物語についてのどんな疑問をも——それがどんなに論理的で支持されても——退けようとして、創り出された。

9・11 を考えるとき、ありそうもない説明と、専門家の意見を区別することが重要である。

専門家の意見の中には、米議会に真相調査を求める手紙を出した、2,600 人の構造技師や高層建築家からなる「9・11 の真相を求める建築家および技術者団」があり、「9・11 の真相を求める消防士団」、「9・11 の真相を求めるパイロット団」、ツインタワーからの粉塵を分析し、ビル解体に用いられる反応、未反応の物質の発見を報告した、物理学者や化学者たち、それに元米政府職員で、9・11 ほどの深刻な安全保障の落ち度は、即刻の、厳密な調査に付するのが普通だと考える人々がいる。(訳者：現実には、犠牲者遺族会から要求が出されるまで、調査されなかった。)

これら資格をもち経験のある人々のグループは、9・11 の公式物語は欺瞞だと言っている。建築家、エンジニア、科学者が、公式物語は物理的に不可能だと言っている。消防士や WTC の保管職員たちは、建物の内部で多数の爆発があり、最初の爆発は地下室の地下で起こり、それは建物に飛行機が衝突する前だったと言っている。経験ある軍や民間のパイロットは、こうした航空機の動きは、ハイジャッカーとされる者たちの能力を超えたものだと言っている。9・11 調査委員会の共同議長も、法律顧問も本を書き、情報が委員会には与えられなかったこと、米政府が委員会にウソをついたこと、委員会は失敗するように仕組まれていたことを明らかにしている。

言い換えると、確固たる証拠は、公式ストーリーを全く支持しないのである。

我々は公式物語がウソであることを知っている。我々は、これが誰のやったことなのか、またはこの事件が、何のために起こされたのかを知らない。しかし状況証拠は、ネオコン（サーバティブ）に対する疑惑を強く支持している。彼らの政府内での高い立場は、ニセ旗攻撃を成功させ、公式物語がしっかり固まるまで、どんな調査も遅らせ、注意をそらすことを可能にしたであろう。我々はまた、“踊るイスラエル人”（事件を待機していた5人）から、イスラエル政府の細胞がこの攻撃をあらかじめ知らされていたことを知っている。これは、イスラエルの要員が、ツインタワーの崩落を撮影するように配置されていたものである。

ネオコンの、1990 年代に書かれた方針説明書は、中東を手始めとするワシントンの覇権戦争を軌道に乗せるためには、“新しいパールハーバー”が必要だと言った。これらの方針説明書は、9・11 の事件より前に、イラク、シリア、イラン、リビアを攻撃対象として知らせている。これらの国のいずれも、9・11 の公式物語とは何の関係もなかった。この物語が非難するのは、オサマ・ビン・ラーディン、ソ連のアフガニスタン占領に対抗するために、1970 年代にワシントンが創ったジハーディスト集団なのだ。

これらの国のどの一つとして、ジハードイストの政府をもってはいなかった。イランには抑えられた形のイスラム法はある。しかし、イラクのサダム・フセインも、シリアのアサドも、世俗（非宗教）政府を率いていた。にもかかわらず、ネオコンは偽って、サダム・フセインは“アルカーイダとの関係”をもっていると主張した。このウソと、イラクはアメリカを脅かす大量破壊兵器をもっているというウソが、9・11の旗印のもとにイラクを侵略するのに利用された。その後、侵略の大義名分が変わった。9・11は捨てられ、“テロへの戦い”と“民主主義をもたらす”ことが、それに取って変わった。

ワシントン内部に4半世紀いた私の経験から、はっきり言えることは、もし9・11のような出来事が、与えられたような理由で実際に起こったとしたら、ホワイトハウス、連邦議会、それにメディアが、どうして数人のアラブ人が、アメリカの国家安全保障態勢の全体を出し抜いたかの説明を求めて、絶叫したことであろう——16のアメリカ情報部局、ワシントンのNATO同盟国とイスラエルの安全保障機関、国家安全保障評議会、航空管制、それに同じ日の、1時間に4回の空港安全確認がある。ところが、それは全くなく、政府は一年間もどんな疑問提出をも拒否した——ほとんどの証拠が隠滅されるまで。

<http://www.washingtonsblog.com/2016/09/government-hid-destroyed-911-evidence.html>

数人のアラブ人が、アメリカの国家安全保障を破ったということは、超大国にかつて加えられた最大の屈辱であろう。しかし誰一人責任を問われなかった。これは9・11が、民主主義に敵対する国家犯罪であったということである。

9・11は、アメリカ政府に利用されて、7つの国家を全体的または部分的に破壊し、数百万の人々を殺し、数百万の難民をつくり出した戦争を、始動させた。9・11はまた、アメリカ警察国家を創り出すのに利用され、それはムスリム・テロより遥かに大きな、自由と民主主義への脅威となっている。

更に詳しくは、9次の文献を参照されたい——

<http://www.paulcraigroberts.org/2016/08/24/the-term-conspiracy-theory-was-invented-by-the-cia-in-order-to-prevent-disbelief-of-official-government-stories/>

<http://www.paulcraigroberts.org/2016/09/07/the-neoconservatives-who-gave-us-911-gave-us-the-american-police-state/>

<http://www.paulcraigroberts.org/2016/09/07/the-tide-is-turning-the-official-story-is-now-the-conspiracy-theory-paul-craig-roberts/>

<http://www.paulcraigroberts.org/2016/07/20/is-the-saudi-911-story-part-of-the-deception-paul-craig-roberts/>